

令和2年度 第3回住吉区防災専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和3年2月24日（水）午後6時30分から午後8時00分
- 2 場 所 住吉区役所4階 第4、5会議室
- 3 出席者
(委 員) 生田委員長、石橋委員、上田委員、北委員、西上委員、畑委員、
原田委員、福留委員
(区役所他) 区長、副区長、地域課長、地域課長代理、地域課担当係長、
危機管理室自主防災組織力向上アドバイザー、住吉消防署地域担当司令
- 4 報告事項
 - (1) 令和2年度第2回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - (2) 令和2年度第3回住吉区防災専門会議への事前意見に対する対応方針について
 - (3) 令和2年度第3回区政会議での防災に関する意見要旨について
 - (4) 令和2年度住吉区総合防災訓練実施結果について
- 5 議題事項
 - (1) 令和3年度住吉区総合防災訓練の実施概要について
- 6 議事要旨
 - 報告
 - (1) 令和2年度第2回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - ・ 災害時避難所に配備している備蓄物資一覧のリニューアルや、在宅避難者の確認方法や支援方法、災害時避難所から福祉避難所に移送する際の連携方法等、前回の防災専門会議での意見について対応方針を説明した。
 - ・ 委員より、次のような意見があった。
 - ▶ 新型コロナに感染した場合、重症化しやすい方の目安を判断するために、酸素飽和度を測定するパルスオキシメーターの配備を検討した方が良い。
 - ▶ 福祉避難所への申し送りシートについて、服薬状況は人によってかなりの数があるため、お薬手帳を添付してもらう方が良いのではないかと。
 - (2) 令和2年度第3回住吉区防災専門会議への事前意見に対する対応方針について
 - ・ 災害時避難所において、37.5度以上ある方同士を同室に避難させて良いかの基準や、各地域における防災意識の温度差の解消について、委員より事前に意見のあった内容について対応方針を説明した。
 - ・ 委員より、次のような意見があった。
 - ▶ 地域役員として、療養室に誘導後にコロナ感染が判明し、クラスター等が判明した場合に責任問題にならないかと思い、判断するのは荷が重い。

- ▶ 無症状であってもコロナ陽性者である場合もあるため、きちんとした基準（37.5度以上は別室へ避難）に基づいて誘導していれば、責任を問われるものではない。
- ▶ 37.5度以上の場合は、必ず別室へ誘導する等の基準を広く区民に周知し、それが当然のこととして認知されれば、地域の方の負担も減ると思う。

(3) 令和2年度第3回区政会議での防災に関する意見要旨について

- ・ 災害時要援護者に関する支援方法や個別支援プランの記載内容、防災意識の向上等、委員からいただいた意見について、対応方針の説明を行った。

(4) 令和2年度住吉区総合防災訓練実施結果について

- ・ コロナ感染防止対策を踏まえた内容やアンケート結果等の報告を行った。
- ・ 委員より、次のような意見があった。
 - ▶ 町会長等の意識がかなり低いため、どのように防災意識を向上させるかが非常に重要な課題。
 - ▶ 災害ボランティアセンターについて、区本部と区社協本部との無線がつながりにくいため、アンテナ等解決策を検討したい。
 - ▶ 福祉避難所の開設訓練についても、総合防災訓練の日と別日でもよいので、区役所と実施したい。

■ 議題

(1) 令和3年度住吉区総合防災訓練の実施概要について

- ・ 実施日時や実施方法等について説明を行った。
- ・ 委員より、次のような意見があった。
 - ▶ 人数規模について、その時の気温等にもよるが、ワクチンの接種が始まったこともあり、令和元年度の9,000人規模は難しいかもしれないが、今年度の1,000人よりは多くの人数を参加させても良いのではないか。
 - ▶ ワクチンは防災の観点からも接種を推奨すべきである。
 - ▶ 地域や町会、個人の防災意識をどのように向上できるかが最も大きな課題であると思う。何か良い方法がないか知恵を拝借したい。
 - ▶ 女性目線での観点も有効であり、女性の参画を促すのも一つの方策。
 - ▶ 本人にとってどれほど防災が身近であるかについて具体的に示す必要がある。地道に人材の掘り起こしをすることも一つの手段であると思う。区の防災士でLINEグループをつくっており、日ごろから議論が行われている。
 - ▶ 防災士養成講座を受けて考え方が大きく変わった。定員もあると思うので防災意識の高くない地域を重点的に募集していただくのも良いのかと思う。
 - ▶ 医療的に考えて、炊出し等は実施しても問題ないか。
 - ▶ 消毒し、マスクや手袋をして調理していれば問題ない。食事中にマスクを外すことが危ないので、黙食を推奨する。